

オプトアウト文書【2021年3月版】

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210063
研究課題名	COVID-19流行期における関節リウマチ外来患者と骨粗鬆症外来患者の受診者数の違い
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部 / 佐藤 雄哉
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2021年10月1日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	COVID-19流行中における骨粗鬆症外来と関節リウマチ外来の受診者数や予約変更有無などを調査し、感染症流行下での治療継続ができるための一助としたいと考えます。
研究の方法	対象となる方のカルテ（診療記録）を調査し記録を集計させていただきます。
対象者	2020年1月1日～2020年12月31日までの間に、当院整形外科を受診した関節リウマチ患者さんと骨粗鬆症患者さん。
利用する試料/情報	骨粗鬆症外来 性別 年齢 投与方法 罹病期間 予約変更有無 電話処方有無 未来院有無 予約変更理由 リウマチ外来 性別 年齢 投与方法 罹病期間 予約変更有無 電話処方有無 未来院有無 予約変更理由
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	この研究の成果は、個人を特定されないかたちで、日本骨粗鬆症学会、日本リウマチ学会等で公表する予定です。
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部 / 佐藤 雄哉